



京都市  
CITY OF KYOTO

はじめて  
木製防火雨戸です。

私は、京町家等の開口部に使うてもらうために、生まれました。  
京都生まれ、京都市育ち、生粋の木製です。

令和3年4月、建築基準法に基づく「20分間防火設備」として、  
国土交通大臣のお墨付きをもらいましたので、  
日本全国どこでも使うてもらえるようになりました。

京町家はもちろん、新築建物にも、ぜひ私を使うてください。

## 木製防火雨戸が誕生したワケ

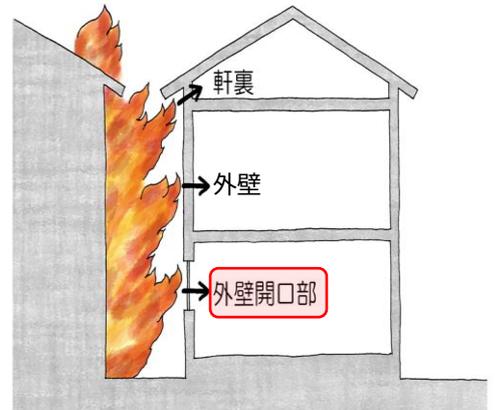
京町家の9割は、防火地域や準防火地域にありますが、建築基準法では、これらの地域にある京町家に増築や大規模修繕等を行う場合、周囲で発生した火災からの延焼を防ぐため、延焼のおそれのある部分（※）にある外壁の開口部（窓）に、火災に強いサッシ等（防火設備）の設置が求められます。

しかし、防火設備として認められているものの多くは、非木製のアルミサッシや鋼製シャッターなどであり、火災に強くできたとしても、素材、色、大きさなどが京町家の意匠に合わないことがよくありました。

そこで、平成30年度から、産（京都府建築工業協同組合等）、学（早稲田大学等）、官（京都市等）が連携を取りながら、京町家の意匠に合った、火災にも強い「木製防火雨戸」の開発に取り組み、令和3年4月に、建築基準法に基づく「防火設備」として国土交通大臣の認定を取得しました。

この認定の取得によって、京町家の既存の木製建具を活かしたまま、外壁の開口部の防火性能の向上が可能となったほか、新築の建物にも使用可能となりました。

※ 延焼のおそれのある部分とは、道路中心線及び隣地境界線から、1階は3m以内、2階以上は5m以内。



図：外壁開口部（窓）は、火災時に延焼経路の1つとなるため、燃え抜けないようにする必要があります。

## 木製防火雨戸の魅力

### 見た目の良さ

「木製防火雨戸」は、外壁開口部の防火性能を向上させるものですが、その名のとおり、枠も戸も木製ですので、京町家等の歴史的建築物の趣ある雰囲気損なうことはありません。

### 防火性能

「雨戸」という名称ですが、「もらい火を防ぎ、建物を守る」ことを目的に開発したものです。隣家等の火災の際は雨戸を閉めることで、建物を延焼から守ることができます。

### 抜群の操作性

戸1枚につき1本の専用溝（レール）を付けることで、火災の際に素早く、また、お子様でも簡単に雨戸を閉めることができます。

※ 非常に頑丈な雨戸ですので、台風時の雨風対策、また、留守時の防犯対策としてもお使いいただけます。

## 木製防火雨戸を使用可能な建築物

- ・ 準防火地域内にある建築物のうち階数2以下で、延べ面積が500㎡以下のもの
- ・ 防火地域内にある延べ面積が50㎡以内の平家建ての附属建築物 など

※ 木製防火雨戸の内側には、木製建具などの防火性能のない窓も設置可能です。  
※ 京町家などの木造建築物のみならず、鉄骨造、鉄筋コンクリート造においても、また、新築、増築に関わらず使用可能です。

## 木製防火雨戸の概要・諸条件

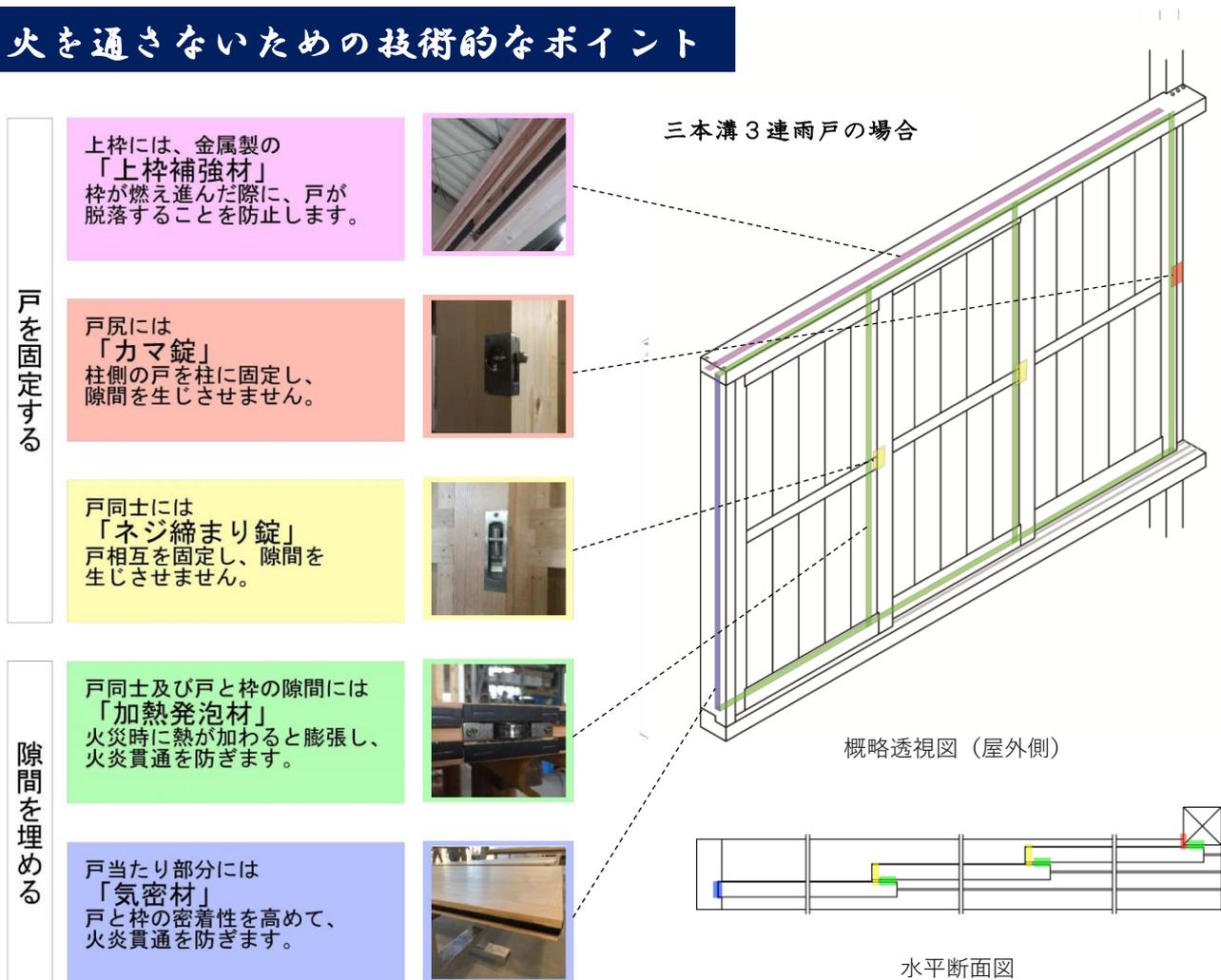
認定番号：EC-0256

認定を受けた構造方法等の名称：木製片引き戸

法的位置付け：建築基準法施行令第137条の10第四号の規定に基づく「20分間防火設備」

認定仕様	二本溝2連雨戸	三本溝3連雨戸
枠の外形寸法	高さ2000mm以下×幅2074mm以下	高さ2000mm以下×幅3030mm以下
戸の寸法	高さ1863mm以下×幅1016mm以下×厚さ36mm以上	
樹種	どんな樹種でもOK (ただし、木材密度0.3g/cm <sup>3</sup> 以上)	
節	節があってもOK (ただし、 <b>抜け節・節の欠け</b> がある場合、木工用パテで隙間なく <b>補修が必要</b> )	

## 火を通さないための技術的なポイント



## 木製防火雨戸を設置するには

「木製防火雨戸」の製作は、木製防火雨戸の製作に係る講習会を受講し、本市から製作等の許諾を受け、製作者リストに登録されている方に限ります。

また、「木製防火雨戸」は、すべてオーダーメイド（受注生産）となります。木製防火雨戸設置の可否、製作に係る費用や期間等については、製作者との打合せ後の決定となりますので、予めご了承ください。

## えっ？木って燃えやすいのでは？

木は燃える材料ですが、1分間に約1mmずつしか燃え進まないため、材の厚みを確保し隙間を塞ぐことで、燃え抜けるまでの時間を稼ぐことができます。

また、木は水分を含むことから、熱を伝えにくい特徴があり、厚みがあれば燃えている間でも、戸の反対側は手で触られるほどしか温度が上がりにません。

「木製防火雨戸」は、戸の厚みや仕様などについて、7回にもわたる燃焼実験を行い、改良を重ねた結果、国が定める性能評価試験に合格し、認定を取得することができました。



屋外側



屋内側

実大燃焼実験(燃焼後20分経過時点の内側と外側の様子)

火炎を当てた屋外側(左)は燃えています、屋内側(右)に火は燃え抜けませんでした！

## 設計ガイドブック (設計者の方へ)

京町家の既存の木製建具を活かした防火改修や、京町家の意匠に調和した新築・増築の際に「木製防火雨戸」を広く活用いただけるよう、その概要や設計に取り込むためのポイントなどをまとめた「木製防火雨戸の設計ガイドブック」を発行しています。ホームページでも掲載していますので、「木製防火雨戸」を活用される場合は、大臣認定仕様から外れることのないようガイドブックをご確認ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/cmsfiles/contents/0000291/291405/guidebook.pdf>



設計ガイドブック



## お問合せ先

製作依頼に関する相談

京都府建築工業協同組合 TEL 075-802-1281

その他、木製防火雨戸全般に関するお問合せ

京都市都市計画局建築指導部建築指導課 歴史的建築物保存活用係  
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488 (分庁舎2階)

TEL 075-222-3620

製作者リスト

[https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/cmsfiles/contents/0000291/291405/boukaamado\\_tourokubo.pdf](https://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/cmsfiles/contents/0000291/291405/boukaamado_tourokubo.pdf)



製作者リスト  
(木製防火雨戸製作者登録簿)

